

社 会 教 育 課

平成 29 年 12 月 31 日現在における平成 29 年度の予算及び事務事業の執行状況について定期監査を実施したので、その結果について概要を述べる。

1 職員の配置状況

当課の職員は課長（図書館長兼務）1 人、社会教育係 3 人、文化財係 2 人の計 6 人で、ほかに社会教育指導員 1 人、家庭教育専門指導員 1 人、校区社会教育推進員 13 人、山野西文化交流会館管理人 1 人、郷土資料館指導員 2 人、臨時職員 2 人が配置されている。

2 予算の執行状況

当課に係る歳入は、予算現額 286 万 2,000 円に対し、調定額 220 万 2,706 円、収入済額 218 万 3,666 円で、収入率は対予算 76.3%、対調定 99.1%となっている。

収入済額の内訳は、使用料及び手数料の教育使用料 140 万 6,610 円（ふれあいセンター等使用料）、諸収入の雑入 77 万 7,056 円（ふれあい講座受講料、コピー料ほか）である。

一方歳出は、職員の給与費を除く予算現額 4,577 万 5,000 円に対し、執行済額は 2,844 万 3,189 円で 62.1%の執行率である。

執行済額の主なものは、次のとおりである。

(1) 社会教育総務費

執行済額は 231 万 7,205 円で、報酬 125 万 8,950 円（社会教育指導員ほか）、賃金 41 万 3,820 円（臨時職員）、負担金補助及び交付金 33 万 4,400 円（始良伊佐地区社会教育振興会負担金、青年団連絡協議会育成補助金ほか）などである。

(2) 文化財管理費

執行済額は 460 万 7,036 円で、賃金 168 万 8,650 円（郷土資料館指導員）、委託料 42 万 8,193 円（地域資源電子データベース用保守業務、湯之尾神社神舞説明板建替業務ほか）、負担金補助及び交付金 234 万 4,900 円（国指定文化財管理事業補助金、伊佐市郷土芸能保存会運営補助金ほか）などである。

(3) 公民館費

執行済額は 1,205 万 2,972 円で、賃金 539 万 4,060 円（校区社会教育推進員）、報償費 118 万 9,000 円（ふれあい講座講師謝金ほか）、委託料 522 万 7,000 円（校区集会施設、青少年センター等指定管理業務）などである。

(4) 視聴覚教育費

執行済額は 13 万 1,614 円で、需用費 2 万 1,614 円（消耗品費）、負担金 11 万円（県視聴覚教育連盟負担金）である。

(5) 青少年教育費

執行済額は 189 万 2,108 円で、報償費 23 万 8,200 円（家庭教育学級講師謝金、青少年育成補導センター運営委員会出会謝金、青少年健全育成大会活動発表者報酬金ほか）、委託料 87 万 8,400 円（家庭教育専門指導員業務）、負担金補助及び交付金 60 万

5,500円（ふるさと学寮事業補助金、レインボーキッズいさ事業補助金ほか）などである。

(6) ふれあいセンター費

執行済額は699万4,480円で、需用費24万3,156円（消耗品費）、役務費29万586円（通信運搬費）、委託646万738円（施設管理業務、窓口管理業務）である。

(7) 山野西文化交流館費

執行済額は44万7,774円で、報酬25万2,000円（管理人）、需用費2万4,378円（消耗品費、燃料費）、役務費1万7,485円（グランドピアノ調律手数料）、備品購入費17万1,396円（AED）である。

3 主な事務・事業の執行状況

事務事業名	執行済額（円） （予算現額）	事務内容及びその効果
社会教育推進事業	2,124,178 (3,052,000)	<p>【事業内容】 社会教育委員の会議や社会教育指導員の活動、各種社会教育団体の育成を通して、社会教育の振興を図る。</p> <p>○社会教育委員の会議設置（14人） 年3回の会議を開催し、市社会教育行政への提言により、市社会教育行政の発展を図る。</p> <p>○社会教育指導員の設置（1人） 青少年の健全育成、成人教室の運営、女性団体の育成等を推進する。</p> <p>○青年団活動助成 市の未来を担う青年団活動を支援する。（団員18人）</p> <p>【事業効果】 社会教育委員の会議の開催や社会教育指導員の活動により社会教育の振興が図られた。市青年団に活動助成することで団体の活動が推進された。</p>

<p>文化財保存・活用 事業</p>	<p>4,534,136 (6,277,000)</p>	<p>【事業内容】 郷土学習など教育的活性化を図り、後世に文化財を残す重要な事業である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定文化財保存管理 ○ 郷土資料館（大口・菱刈）に指導員を配置 ○ 地域資源電子データベースシステム運用 ○ 郷土芸能保存会活動支援 <p>【事業効果】 管理保全のための補助金や環境整備のための委託（史跡清掃、標柱看板設置）等により適正に文化財の保存管理がなされている。資料館の専門指導員による来館者へのきめ細やかな説明や各団体が行なう文化財関連の行事に講師として派遣することにより郷土学習の機会を図ることができた。12月10日に郷土芸能祭典を実施し、郷土芸能活動の活性化が行なわれた。</p>
<p>公民館施設等運営 事業</p>	<p>5,231,280 (13,666,000)</p>	<p>【事業内容】 地区公民館、青少年センター及び校区集会施設において、それぞれの校区コミュニティが地域の活性化と生活文化の振興を図る。羽月地区公民館、羽月西・牛尾青少年センター、田中・本城・湯之尾校区集会施設は、校区コミュニティ協議会に指定管理をして運営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定管理委託料 ・ 羽月地区公民館 362,000 円 ・ 羽月西青少年センター 352,000 円 ・ 牛尾青少年センター 77,000 円 ・ 田中校区集会施設 1,618,000 円 ・ 本城校区集会施設 1,271,000 円 ・ 湯之尾校区集会施設 1,547,000 円 <p>【事業効果】 各校区コミュニティにより運営管理を行い、生涯学習の場として活用されている。</p>

<p>公民館講座運営事業</p>	<p>6,821,692 (10,723,000)</p>	<p>【事業内容】</p> <p>ふれあいセンターを中心に、校区公民館等も活用して各種生涯学習講座を開設し、市民の教養向上と生きがい対策をすすめる。</p> <p>○市民の生涯学習活動を推進するため、平成29年度ふれあい講座として、25講座を開設し400人が受講している。平成28年度の終了率（2/3以上出席者）は75%</p> <p>○各校区での青少年体験活動やふるさと学寮による青少年健全育成。</p> <p>○高齢者学級や女性学級、公民館講座の実施。</p> <p>【事業効果】</p> <p>ふれあい講座の実施により地域住民の生きがいづくり、交流の場の提供として効果を上げている。</p> <p>各校区コミュニティにより特色ある講座が開かれ、地域住民の教養向上の効果がある。</p>
<p>青少年教育推進事業</p>	<p>656,436 (980,000)</p>	<p>【事業内容】</p> <p>心豊かで、確かな生きる力を持った次代を担う青少年を育成する。</p> <p>○青少年体験活動の推進</p> <p>校区コミュニティや子ども会、ジュニア・リーダークラブ「レインボーキッズ いさ」などの活動において、青少年が体験活動やボランティア活動などを体験することにより、生きる力や協調性、忍耐力などを養うとともに、郷土の偉人や財産を学ぶ「ふるさと教育」の推進により、郷土への愛着心を育む。また、それぞれの活動や県等が主催する各種研修への参加を通じて、リーダーの育成や指導者の育成を図っていく。</p> <p>○ふるさと学寮の実施</p> <p>市内12校区で開催、児童173名参加</p> <p>○市子ども会大会・創作活動大会の実施（子ども会会員、指導者、育成者等88名参加）</p> <p>○成人式の実施（新成人170人参加）</p> <p>【事業効果】</p> <p>青少年に体験活動やボランティア活動、研修の機会を提供することで、学校以外の青少年教育・ふるさと教育がなされている。</p>

<p>家庭教育推進事業</p>	<p>938,950 (1,087,000)</p>	<p>【事業内容】</p> <p>青少年の非行化、基本的な生活規範の欠如などの一因として、家庭の教育力の低下が挙げられる。子どもの成長のためには、学校教育ばかりでなく、家庭での教育の推進が重要であるため、家庭教育の推進を図る。</p> <p>○市立幼稚園、小・中学校に家庭教育学級を設置し、それぞれの学級で年間6回程度の講座を開催する。</p> <p>○家庭教育指導専門員を設置し、各家庭教育学級において年3回程度、親の心構えや子どもとの向き合い方などを学ぶ親業出前講座を実施している。(平成28年度45回開催668名受講)</p> <p>○家庭教育情報紙「親なら子なら」を年2回、市内全戸に向けて発行し、家庭教育に関する啓発を行っている。</p> <p>○家庭教育啓発リーフレット「芽生え」「もうすぐ1年生」を作成し、対象者に配布することで家庭教育に関する啓発を行っている。</p> <p>【事業効果】</p> <p>講座や情報紙、リーフレットの配布などによる家庭教育支援がそれぞれの家庭での教育力向上につながっている。</p>				
<p>ふれあいセンター運営事業</p>	<p>6,994,480 (7,364,000)</p>	<p>【事業内容】</p> <p>ふれあいセンターは「生涯学習の場」として多くの市民に利用していただき、人と人がふれあい互いに教養を高め、地域の人の絆を見いだす場とすることを目的とし、誰もが利用しやすい施設の管理に努める。</p> <p>○ふれあいセンターの施設管理</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>施設管理業務委託料</td> <td style="text-align: right;">4,100,704円</td> </tr> <tr> <td>窓口業務委託料</td> <td style="text-align: right;">2,360,034円</td> </tr> </table> <p>【事業効果】</p> <p>業務委託により施設管理、窓口業務が遂行され、生涯学習の場として利用されている。</p>	施設管理業務委託料	4,100,704円	窓口業務委託料	2,360,034円
施設管理業務委託料	4,100,704円					
窓口業務委託料	2,360,034円					

山野西文化交流館 運営事業	447,774 (694,000)	<p>【事業内容】</p> <p>地域の恵まれた自然環境を生かし、体験交流活動等を通して地域の活性化が図られるよう管理する。</p> <p>管理人報酬 28,000 円/月</p> <p>【事業効果】</p> <p>施設の管理がなされ、近隣住民とのふれあいの場として活用されている。</p>
------------------	----------------------	---

4 主な委託の執行状況

補助 単独 の別	委託業務名	契約金額 (円)	契約の相手方	契約 方法	契約の期間
単独	田中校区集会施設指定 管理	1,618,000	田中校区コミュニティ 協議会	随意 契約	H29.4.1～ H30.3.31
単独	本城校区集会施設指定 管理	1,271,000	本城校区コミュニティ 協議会	随意 契約	H29.4.1～ H30.3.31
単独	湯之尾校区集会施設指 定管理	1,547,000	湯之尾校区コミュニテ ィ協議会	随意 契約	H29.4.1～ H30.3.31
単独	伊佐市家庭教育専門指 導員業務	878,400	内倉昭夫	随意 契約	H29.4.1～ H30.3.31
単独	大口ふれあいセンター 施設管理業務	4,100,704	公益社団法人伊佐市 シルバー人材センター	随意 契約	H29.4.1～ H30.3.31
単独	大口ふれあいセンター 窓口管理業務	2,360,034	大口コミュニティ協議 会	随意 契約	H29.4.1～ H30.3.31

5 負担金及び補助金の支出状況

(1) 主な負担金の執行状況は、次のとおりである。

団体名	負担金額(円)	事業内容等
始良伊佐地区社会教育 振興会	220,000	始良・伊佐地区内の4市町が連携して、社会教育の振興を図り、社会教育事業の推進、社会教育団体の育成を進めていく。
県視聴覚教育連盟	110,000	県内の視聴覚教育振興のため県内全市町村により組織される。視聴覚教育教材の収集提供、研修会の開催など市町村視聴覚教育の発展を図っている。

県公民会連絡協議会	26,500	県内各地市町村教育委員会、関係機関・団体と連携し情報収集や提供、関係職員の資質の向上を行い、地域住民の生涯学習やコミュニティ活動の拠点としての公民館の運営や機能の整備・充実を図る。
-----------	--------	--

(2) 主な補助金の執行状況は、次のとおりである。

団体名	事業名	対象事業費	補助金額 (円)	事業内容等
伊佐市青年団	青年団連絡協議会育成補助金	797,000	80,000	伊佐市青年団は青年団活動をはじめ、地域ボランティアへの参加やジュニアリーダークラブの活動指導など、地域に根ざした活動を実践している。市として、この地域の若い力の活動を支援していく。 平成29年度団員数18名
国指定文化財 祁答院住宅	国指定文化財祁答院住宅補助金	394,600	394,600	国指定文化財維持管理 重要文化財建造物の適正な維持管理を行なう。
国指定文化財 郡山八幡神社	国指定文化財郡山八幡神社補助金	110,300	110,300	国指定文化財維持管理 重要文化財建造物の適正な維持管理を行なう。
伊佐市郷土芸能保存会	伊佐市郷土芸能保存会運営補助金	1,800,000	1,800,000	貴重な郷土芸能を絶やさぬよう後継者の育成に努める。29年度は郷土芸能祭典を実施し、7団体が出演し活動の活性が図られた。

レインボーキッズいさ実行委員会	レインボーキッズいさ事業補助金	210,000	100,000	<p>小学校4年生から高校3年生までの異年齢の児童・生徒で構成された青少年体験活動団体。</p> <p>年間を通して様々な活動（ボランティア・宿泊研修・農業体験・国県等の各種研修参加）を展開している。</p>
ふるさと学寮実行委員会	ふるさと学寮事業補助金	543,707	500,500	<p>ある一定期間、子どもたちが家庭を離れ、集団宿泊生活（通学合宿）体験を通して、子どもたちの自主性、協調性、忍耐力や連帯感を養う。</p> <p>各校区コミュニティ協議会を中心に人的サポート体制をとる。</p> <p>・平成29年6月28日～7月1日 大口校区13名、牛尾校区18名、平出水校区9名、羽月校区25名、羽月西校区19名、曾木校区11名、針持校区11名、本城・南永校区12名、菱刈校区9名、田中校区9名、湯之尾校区19名</p> <p>・平成29年8月1日～3日 山野校区18名</p>

6 財産管理の状況

(1) 土地・建物の管理状況は、次のとおりである。

種 別	面 積 (㎡)	内 訳
土 地	43,020.02	(1) ふれあいセンター 9,537.95 ㎡
		(2) 山野西文化交流館 14,490.00 ㎡
		(3) 校区集会施設、地域集会施設等 17,782.58 ㎡
		(4) 鉄道記念公園 463.00 ㎡
		(5) 大住古墳群ほか 746.49 ㎡
建 物	10,943.45	(1) ふれあいセンター 5,911.73 ㎡
		(2) ふれあいセンター駐車場公衆便所 27.65 ㎡
		(3) 山野西文化交流館 707.00 ㎡
		(4) 校区集会施設、地域集会施設等 4,297.07 ㎡

(借地)

地目	所在地	所有者	面積 (㎡)	年間賃借料 (円)	借用期間	利用状況
雑種地	菱刈荒田 2546-2	(個人所有)	221.00	10,000	H22.4.1～ H30.3.31	青木元地区教育 集会所(ゲートボール場)
墓地	大口田代 242-5	霞山霊園 組合長 田中貫一	298.00	30,000	H23.4.1～ H30.3.31	羽月西青少年セ ンター駐車場

(2) 絵画等の管理状況は、次のとおりである。

種類	作者名	題名	取得の相手	取得理由	取得年月日	展示場所等	
絵画	油絵	犬童 次夫	邂逅	犬童 次夫	—	—	ふれあいセンター
	〃	犬童 次夫	朱とグリーン	犬童 次夫	—	—	〃
	〃	山口 長男	かたち	大口中学校	—	—	大口図書館
	〃	山口 長男	作品4	羽月小学校	—	H5.12.15	〃
	水彩	山口 長男	無題	神保 晴子	寄贈	H20.8.27	〃
	〃	山口 長男	無題	神保 晴子	寄贈	H20.8.27	〃
	油絵	田之上 正	舞う	田之上 正	寄贈	H5.1.6	〃
	〃	田之上 正	人物像	永吉のり子	寄贈	H14.1.13	〃
	水墨	田之上 正	風景(開門雪山)	永吉のり子	寄贈	H14.1.13	〃
	油絵	新留 求	少女	新留 求	寄贈	H5.11.8	ふれあいセンター
	〃	長谷川武光	家族鶏をつぶす	長谷川武光	寄贈	H4.6.1	〃
	〃	長谷川武光	パリスの審判	長谷川武光	寄贈	H4.10.1	大口図書館
	〃	前村 卓巨	Crack up93-IV	前村 卓巨	寄贈	H6.5.10	ふれあいセンター
	〃	前村 卓巨	Crack up93-II	山野中学校長	寄贈	H14.10.2	〃
	〃	宮上 松岳	海音寺先生	宮上 松岳	—	—	大口図書館
	〃	隈元 剛	田之神と共に	隈元 剛	寄贈	H7.6.17	ふれあいセンター
	〃	山下 郁子	曾木の滝	山下 郁子	寄贈	H25.5.16	〃
写真	—	終戦御前会議	村岡二三次	—	—	〃	
版画	竹之内直記	女神の豊穰舞	竹之内直記	購入	H4.3.31	〃	
彫刻	丁野 政行	福祿寿一体	丁野 政行	寄贈	H14.4.17	〃	

7 現地監査

神池集会所、本城校区公民館の土地・建物及び駐車場、大住古墳群用地の土地、牛尾青少年センターの建物の管理状況について現地監査を実施した結果、いずれも良好に管理されていることを認めた。

8 その他

当課で整備保管すべき財務に関する諸帳簿等は、おおむね良好に整備保管されていることを認めた。